



TNR 活動団体「そらとゆめ」

見守ってください地域猫

猫と共生できる街づくり 飼い主のいない猫のため

今年の新年号は、朝霞市を中心にTNR活動・地域猫啓発活動を行っている、朝霞市TNR活動団体「そらとゆめ」代表の田中稔さんを11月10日に取材しました。田中さんは「彩の国動物愛護推進員」メンバーで、年間100〜120匹の野良猫の不妊去勢手術と、10〜20匹の飼い主のいない猫の里親さんを見つけています。個人活動してる方達や、餌やりさん達と連携し、地域住民の方たちの理解を得ながら行政が認める「地域猫」の確立を目指しています。また、田中さんの本業は建築設計で、朝志和支部中央分会の組合員です。中央分会の亀山さんとの対談となります。

TNR活動とは、TII

Trap (捕獲) 野良猫を保護する際、決まった時間や場所にエサを与えて餌付けをし、その後捕獲器を置いて捕獲します。

Return (元の場所に返す) 捕獲された猫は、不妊去勢手術後、捕獲した所に戻されます。猫を戻す理由には

「全ての野良猫を保護することはできない」ということが挙げられます。そしてもう子猫を産むことなく、5〜6年の短い命を地域で過ごす猫は、地域猫と呼ばれます。

N (Neuter) (不妊去勢手術) 猫は繁殖力が高く、1年に2〜3回出産して1度に4〜6匹の子猫を産みます。猫に不妊手術をしなければ、猫はどんどん増加してしまいます。野良猫が地域で増えないようにするためには、不妊手術が必要です。不妊去勢手術をした野良猫は見分けが出来る様に、耳の先をカットし目印をつけます。カットされた耳がさくらの花びらに見えることから「さくら猫」と呼ばれて



対談をする田中さん(左)と亀山さん(右)

「家で飼われている猫は平均寿命16年くらいですが、野良猫は5〜6年しか生きられません。『全

「全ての野良猫を保護することはできない」ということが挙げられます。そしてもう子猫を産むことなく、5〜6年の短い命を地域で過ごす猫は、地域猫と呼ばれます。

「家で飼われている猫は平均寿命16年くらいですが、野良猫は5〜6年しか生きられません。『全

不妊去勢手術を行い翌日元の場所に戻す

亀山: どのような活動をされていますか。

田中: 捕獲器を使って猫を捕獲し、不妊去勢手術を行い、元の場所に戻します。

昨年度までは、不妊手術費用は朝霞市から補助金が支給されていましたが、今年度「さくらねこTNRチケット」が1団体につき、3カ月で20枚発行されるので、それを活用しています。朝霞市では「神山動物病院」がどうぶつ基金提携病院となっていて、「さくらねこTNRチケット」で

活動をしていくうちに私は、猫好きさんはもちろん、猫嫌さんの意見も聞きながら、地域住民に寄り添った活動を通して「猫と共生できる街づくり」を目指していきたいと思っています。2017年7月7日にボランティア団体「そらとゆめ」をメンバー4人で立ち上げました。

「発情期の鳴き声の抑制」などが期待できそうです。エサやりを禁止しても、野良猫の繁殖を止めることはできません。何よりこの活動によって一代限りとなった命を地域で見守って頂きたいと思っています。

エサやりはマナーをできれば手術もお願い

亀山: 活動をしていくなかで、地域の方々に伝えたいことはありますか。

田中: 野良猫に「可哀想だから」とエサをやる方がいます。エサやりを禁止している自治体もありますが、朝霞市は禁止していません。お腹を空かせている野良猫にエサをあげる。その行為自体が悪いことではありません。猫が食べ終わったら後片付けをする、置きエサはしない、というマナーを守ってエサやりをしてあげてください。しかし、猫はエサ

を食べて、体力がつかなくなるので、体力がつかなくなるので、繁殖しやすくなります。活動をしていくなかで「エサをあげるなら不妊手術しませんか?」と声掛けをしています。なかなか理解をして頂くのは難しいですが、納得して頂くまでご説明をします。不妊手術は一般の動物病院ではだいたい2万円前後です。我々のようなボランティア団体は、警戒心が強くなかなか捕まえられるない野良猫や、餌をあげてなついている外猫も捕まえて、どうぶつ基金提携病院で不妊手術



不妊手術を行い耳をカットした猫=さくら猫



活動のきっかけとなったヒカル君

が出来るようにお手伝いをいたします。もちろん飼いたいと思います。

人の都合で捨てられ 飼うときは看取って

亀山…なぜ野良猫が増えるのですか。

田中…野良猫に餌をあげるだけで、手術をしないことも原因ですが、人間の都合によって捨てられる猫たちのほうが大きな問題だと思っています。

私が聞いたひどい話では、ペットショップから子猫を買って来て3年くらい飼いい、大きくなり可愛くなかったのその猫を棄てて、また子猫を買ってくるという人がいます。

飼いたい猫の手術は必ずやって頂きたいと思っています。

たらしいです。確かに子猫はかわいいですが、3年も一緒に生活して棄てるという人の気持ちは、私には解りません。これは明らかに動物愛護法違反の犯罪です。

また、コロナの影響により仕事がなくなつて猫を棄てるなど理由は様々ですが、猫に限らず動物を飼う時は、終生を共にしてください。

亀山…外飼いの猫が子猫を産んでしまったらどうしたら良いでしょうか。

田中…現在は、猫は室内飼いが基本です。交通事故をはじめ、病気、けが、カラスやタヌキに捕食されるなど、子猫にとって外の世界は危険が多いです。



エサをあげてなつかせ、警戒心を解く

もし、外飼いの猫が子猫を産んでしまったら、里親を探して欲しいと思います。我々のような団体に相談して頂いてもかまいません。子猫であれば里親が見つかる可能性はかなり高いです。そして母猫は必ず不妊手術をしてください。



捕獲機をセットする田中稔さん＝そらとゆめ代表

猫と人間のつながり 地域社会との共生

中央分会の田中さんが野良猫の活動をしていることは知っていました。取材のためお話を聞くと、色々考えさせられました。野良猫にエサをやるということが、猫を増やしてしまうことだと

は考えもしませんでした。また「エサをあげるなら手術しませんか」とは今まで思いもしなかった言葉ですが、大きく響きました。「恵まれない不幸な野良猫は産ませたくない」「野良猫の地域社会との共生」が田中さんの活動の根本にありました。



捕獲した猫を手術のため病院に移送

猫と人間は昔から共生してきました。9500年前の遺跡から人間と一緒に埋葬されている猫が発見されています。また日本へは、飛鳥時代から奈良時代にかけて、中国からの輸入船にネズミを捕るために乗せられてい



捕獲したキジ猫

た猫が日本に降り立ち、繁殖したと考えられています。今年は丑年です。猫はなぜか干支にはいません。神様が地上の動物を招き、先着順で十二支を決めることになったそうです。しかし、ネズミは猫にわざと1日後の日付【中央分会 亀山章】



猫は一度捕獲機で捕まったら、次に捕獲機で捕まることはほとんどない